

(4)すり傷・切り傷への対処

湿潤療法のやり方

- 1 出血していたらガーゼや布を当てて直接圧迫止血をします
- 2 水道水やペットボトルの水で傷口をきれいに洗い流し、清潔なガーゼなどの布で軽く水気をふき取ります
- 3 傷口の乾燥を防ぐために市販の被覆材(ハイドロコロイドやアルギン酸塩などでできたもの)で傷を覆います
- 4 ときどき傷口を洗い、被覆材を交換します
市販品はそれぞれの使用法の注意を確認し、必要に応じて交換します
応急手当として、ラップを使った場合は、なるべく早く市販の被覆材を買って取り替えましょう



市販の被覆材がない場合(応急手当として)

ラップを傷口よりも大きめに切り、傷口に当てて四方を絆創膏などで固定し、その上にガーゼなどを当てます



湿潤療法を行う場合の注意点

湿潤療法に向いていない傷がある

- 砂や石、土などの汚れが付着してとれない傷
- 犬や猫などの動物にかまれたり、ひっかかれたりしてできた傷
- 深い傷 ■さびた釘でできた傷
- ガラスによる切り傷 ■古くなった傷

悪化の兆候が見られたらすぐに中止を

- 傷の周りが赤くはれて熱を持つ
- 傷口の痛みが強くなる ■うみが出たり、傷の周りが黒ずんだりする



傷には何も塗らない! 吹きつけない!

湿潤療法をするときは、傷に何もつけないのが原則です
消毒液はもちろん、傷用の軟膏もNG
当然、傷を乾燥させるスプレーはもつてのほかです
かえって傷の治りを悪くしてしまいます



10. アレルギー(アナフィラキシー含む)

ハチに刺された・原因となる食物(薬)を飲んだ(可能性がある)

次のうち、どの症状が見られますか?

【全身症状】

- ぐったりしている、意識もうろう
- 尿や便を漏らす
- 脈が触れにくい、不規則
- 唇や爪が青白い

【呼吸器症状】

- のどや胸が締め付けられる
- 声がかすれて息がしにくい
- 犬が吠えるようなせきや持続する強いせき込み
- ゼーゼーする呼吸

【消化器症状】

- 我慢できない強いお腹の痛み
- おう吐を繰り返す

→エピペン®を持っているときは打つ

1つでも「はい」がある



救急車を呼ぶ!

【呼吸器症状】

- 数回の軽いせき

【消化器症状】

- 1~2回のおう吐や下痢

【粘膜症状】

- 顔全体のはれ
- まぶたのはれ

【皮膚症状】

- 強いかゆみ
- 全身が真っ赤
- 全身のじんましん

→緊急薬があれば内服させ、エピペン®があれば準備する

1つでも「はい」がある



すぐに受診
(救急車でもOK)

【消化器症状】

- 軽いお腹の痛みや吐き気

【粘膜症状】

- 目のかゆみ・充血
- 口の中の違和感・唇のはれ

- くしゃみ・鼻水・鼻づまり

【皮膚症状】

- 軽いかゆみや数個のじんましん、部分的な赤み

→緊急薬があれば内服させる

1つでも「はい」がある

症状が改善しなかったり、進行するときは、医療機関を受診



【エピペン®】

アナフィラキシー(命にかかわるような全身のアレルギー症状)のときに第一選択となる自己注射薬